

6月の保育（〇ねらいと担任の思い）

<4歳児 りす組>

幼小合同運動会を経験し、思い切り走ったり音楽やリズムに合わせて体を動かしたりすること、教師や友達と一緒に活動することを楽しむ姿が見られるようになりました。小学生の取組を毎日近い距離で目にしていたことで、憧れの気持ちも増したようです。運動会の余韻を楽しみながら、引き続き体を動かしたりみんなで一緒に動いたりする活動を取り入れていきます。

園庭では、裸足になって過ごしたり、水を使って遊んだりすることを楽しんでいきます。教師も仲間となって一緒に遊ぶ中で、砂や泥、水の感触の楽しさを言葉で表したり、面白さや不思議さに共感したりして関わっています。水で遊ぶ経験は今後プール遊びにつなげていき、この時期ならではの遊びを十分に楽しめるようにしていきます。雨の日や暑い日も増えてくるため、安全、健康に過ごせるよう、園内での生活の仕方や約束を改めて確認するとともに、年少児なりに意識をもって過ごせるよう丁寧に指導していきます。

栽培物の生長、生き物や飼育物の姿の変化など、自然に目を向ける機会も増えてきました。一人ひとりの気付きや眩きを温かく受け止め、一緒に喜んだり、大切に世話をしようという気持ちをもてるように指導したりしながら、興味・関心を支えていきます。

〇友達に親しみをもち、同じように動いたり、関わったりすることを楽しむ。

〇幼稚園生活における遊びや生活の約束が分かるようになる。

〇栽培物の生長や生き物の姿に関心をもつ。

<5歳児 はと組>

友達と一緒に園庭やプレイルームで広々と場を作ったり、自分のやりたいことを見つけてじっくり取り組んだりしながら遊んでいます。いつの間にかみんなが集まって、ルールのある運動遊びを楽しむ姿も見られます。力を合わせたり、作戦のような考えを出したりしながら遊びを進めていこうとすることもずいぶん多く見られるようになりました。一方で、友達に遊びたい思いなどを伝えようとしますが、気持ちをなかなか分かってもらえなかったり、相手の話を最後まで聞けなかったりして遊びが進まない姿も引き続き見られます。教師も一緒に興味をもって聞いたり、問い掛けや言葉などを整理したりしていきます。また、当番活動や共同画など、グループでの経験から、仲間を呼び合ったり、相手の動きや考えなどを意識したりして活動する姿が見られるようになってきました。本村なつまつりに向けて昨年度の取組を思い出しながら、年長としての準備を進めていくことも、友達との関わりからの学びが高まることでしょう。

自分たちで植えた栽培物の生長を楽しみにしたり、身近な生き物に気付いて興味をもって見たりすることを続けていきます。雨や雨上がり、水たまり、湿度など梅雨の季節の自然の美しさや面白さにゆったりと触れられるように援助していきます。また、6月後半は蒸し暑いことが予想されます。水遊びなどで水そのものや、水を使った遊びに触れて遊ぶ中で、ダイナミックに遊べるようにしたり、繰り返し試す面白さなどを味わえるようにしたりしていきます。

〇互いに思いや考えを伝え合いながら、友達と一緒に遊びを進めることを楽しむ。

〇様々な材料や道具を使って、試したり工夫したりしながら遊ぶ楽しさを味わう。

〇梅雨時の自然や気候の変化に気付き、生活や遊びに取り入れて遊ぶことを楽しむ。